

仁義と侠気に生きた漢たち 70年の記録

『孤狼の血』はある日突然、生まれたのではない。数多くの漢たちの戦いの歴史の末に生まれてきたのだ。

1963年

『人生劇場 飛車角』／東映任侠映画第二作。戦前から何度も映画化されている尾崎士郎の同名小説を大胆に脚色。これで鶴田浩二は任侠映画の顔に。

1964年

『日本侠客伝』／この映画で高倉健の人気は急上昇。
『昭和残侠伝』／高倉健の人気を決定づけた東映任侠映画の看板シリーズ。

1965年

『網走番外地』／任侠映画とはひと味違う高倉健第三のシリーズとして人気を博した。
正編10作、新編8作が製作された。

1967年

『博奕打ち』／鶴田浩二の看板シリーズ。

1968年

『緋牡丹博徒』／任侠映画の華、藤純子の初主演シリーズ。

1972年

『現代やくざ 人斬りと太』／深作欣二監督のリアルな暴力描写が開花。

1973年

『仁義なき戦い』／東映任侠映画のみならず日本映画史を根底から変えた傑作。本作より実在の抗争事件の映画化、通称実録映画がスタート。

『山口三丁目』／日本最大の組織のトップの物語をオール実名で映画化。

1975年

『実録 私設銀座警察』／戦後銀座を跋扈した暴力組織の実態を衝撃的な描写で再現。

『仁義の墓場』／実録映画の極北と言われる深作欣二監督作。

『県警対組織暴力』／『仁義なき戦い』の監督・脚本・主演のトリオが再結集。この映画が無ければ

『孤狼の血』は生まれなかった。

1977年

『日本の首領』／やくざ組織と政財界の関係を抉り出す、大河シリーズ三部作、開幕。

1984年

『修羅の群れ』／任侠映画のゴッドファーザー、俊藤浩滋、久々のプロデュース作。実在の大物の半生を豪華なスター競演で完全映画化。

1990年

『激動の1750日』／日本最大の暴力団抗争を完全映画化。

1996年

『シャブ極道』／『孤狼の血』の役所広司が初の本格的やくざを演じたのが本作。

2003年

『新仁義なき戦い 謀殺』／『相棒』のメイン監督、橋本一、デビュー作。東映やくざ映画の伝統を引き継ぐタッチの中、渡辺謙が暴走しまくる力作。

2018年

『孤狼の血』／11月2日(金)レンタル開始

